

平成 25 年度 第 6 回 在宅介護委員会会議報告

日程：2 月 20 日（木）

場所：薬国会議室

時間：20：30～

出席者：小田村元昭、中川勝憲、永崎一樹、中村三喜雄、河野吉昭、徳永修（順不同、敬称略）

欠席者：山下幸子

議題：●報告事項

- ・ H26 年 1 月 15 日（水）：在宅医療推進に関する報告とアンケート送付（市薬）
 - ・ 一次締切 1/31 二次締切 2/10
 - ・ 回答率：92%（115/125 店）
 - ・ 目的）①在宅訪問活動を行う意思があるかどうかの確認 ②多職種に対する情報提供の基礎
 - ・ 詳細：別紙参照
- ・ 2 月 2 日（日）：県薬 第 3 回在宅医療委員会（欠席）
 - ・ 内容）①・在宅医療推進アクションプラン研修会の実施状況報告：佐世保では、H23 年度に実施後、時期を模索している。
 - ・ H25 年度 薬物療法提供体制強化事業の報告
 - ②・在宅医療に関するアンケート：2 月上旬に行う
 - ・ 九山大会：ポスター発表を行う
 - ・ 第 3 次 長崎県地域医療再生計画事業：「フィジコ」を使った研修の件、「リーダー研修会」の件
- ・ 2 月 6 日（木）：県薬 在宅医療推進アクションプラン進捗状況調査
 - ・ 徳永回答、送付
- ・ 2 月 20 日（木）：第 2 回 薬看連携研修会
 - ・ 訪問薬剤師から、困難事例の検討
 - ・ 参加者：39 名（内、薬剤師 23 名↑、看護師 15 名↓、在宅医 1 名↑）

在宅医がまだまだ不足している。このような研修会をもっとオープンにして、医師を巻き込んだ会にしてはどうかと提案あり。

●今後の予定

- ・「在宅推進アクションプラン」講習会…4 月の調剤報酬改正に絡め行う
- ・ 市薬 HP に「在宅協力薬局リスト」「地域包括支援センター協力薬局」の掲載

●検討事項

- ①H26 年度の事業内容に関して
- ②その他

《検討事項》

●H26 年度の事業内容

①緩和ケア ②無菌調剤 ③24 時間対応 ④地域の多職種（介護職も含め）との連携 ⑤地域医療支援病院との連携 を軸とし、具体的な項目を作り担当者を置く。

①**基礎講習**：問い合わせで、レセプトや書類作成など在宅の導入部分に関しての質問は多く寄せられている。また、今後実施をしたいとの薬局に対し、必要な講習。フィジカルアセスメントなども含め。

主任：河野 補佐：山下

②**緩和講習・無菌講習**：地域医療支援病院が在宅医療に踏み切れば、必ず関わっていく問題でもある。スキルアップが必要。→簡易型クリーンベンチの購入も考慮

主任：中川 補佐：小田村

③**地域医療支援病院（総合・労災・共済・中央）との薬薬連携講習**：在宅医療チームに参加していくための前段階。ニーズの把握と環境整備。

主任：小田村 補佐：中村

④**多職種連携講習**：現在、地域包括支援センター、訪問看護協会だけだが、その他の団体とも交流の場を作っていく。顔の見える薬剤師。

主任：中村 補佐：永崎

⑤**「サポート薬局」体制の研究**：今後、薬局の横の連携が必要となってくる。24 時間対応になればなおさらである。班割りや地域割りなども含め考えていく。

主任：永崎 補佐：中川、河野

●その他

- ・在宅協力薬局のリスト更新
- ・川添哲嗣先生の講演に関しては、県在宅委員会に相談（継続）

●次回の委員会の予定

- ・未定